

平成30年度 亥さん午さん達の田作り

～第12期大椎っ子田んぼ、第9期あすみっ子田んぼ 稲刈り編～

大椎小は9月20日、あすみ小は26日に稲刈りを行いました。苗代作りから田んぼを見守ってくださったり大椎小の草取りでもご指導くださった地元の方が、稲刈りのコツや昔ながらの稲の縛り方などをご披露くださり、子どもたちの心に印象深く残ったようです。今年もケガなく、無事に稲刈りも終わることができました。ありがとうございました。

◎大椎っ子田んぼ (9月20日実施)

★始めに地元のおじさんから昔ながらの稲刈りを教わった。稲刈りは最初はうまく刈れなかったけど、なれてくるとテンポよく刈れた。汗をいっぱい流した。次は刈った稲をひもやわらで結んだ。田んぼでは生き物がのびのびと生きて生活しているとわかった。田んぼの人たちが自然を大切にしていることがよくわかった。きょうな稲刈りができてうれしかった。(T.N)

★話を聞いていておもしろかったことは、稲刈りで危ないものは、カマ、ヘビ、稲の葉と言われたことだ。稲の葉でケガすることがあることにおどろいた。稲を自分とは反対側にたおしたあとカマを横にひいて稲を刈れば、ケガをしにくいということがわかった。(K.O)

★田植えや草取りをして、今日が最後の稲刈りだ。農家のおじさんが「このお米はみんなで育てためずらしいお米だから、すぐに食べないで1度においをかいてから食べてください」と言っていたので、学校で食べる時にはおいをかいておいしく食べたい。(K.K)



(S.T)

★稲刈りのむずかしさは、カマを力強く横に引くことだ。力強くやらないと稲が刈れなかった。なれてくるとスパッと刈れてすがすがしかった。田んぼのぬまぬまも気持ちよかった。稲を持っていると手足がかゆくなって大変だった。田植えの時にはいなかった虫がいたことに気づいた。学校田んぼのそばに赤米や緑米もあった。(N.Y)

★思っていたより稲が生長していてびっくりした。一番大変だったのは刈った稲を大椎小へ運んだことだ。そんなに重くないと思って3束も持ってしまったら、とても重かった。学校に帰るまで持っていたら、うでの感覚がなくなって、稲をおろすとうでが痛かった。でも初めてのことなので楽しかった。(M.O)

★稲刈りはカマを使うので危険でこわかったが、やってみたら楽しかった。刈った稲をひもでちょうちょ結びでつくした。それを学校に持ち帰りプールのフェンスにほした。田んぼに前より虫がたくさんいた。(S.Y)

★始めに農家のおじさんから稲の刈り方を習った。稲を運ぶ時は穂を下にして運ぶことも習った。最初は、友だちが刈った稲をしばる作業をした。まず、ひもをのびして稲をのつけて結んだら、裏にして思いっきりかたく結んだら、輪の中で2回まわして結んでちょうちょ結びをして完成だ。その後、稲刈りをしたが、稲を刈る感覚が気持ちよかった。また、やりたい。(K.M)



★田植え、草取りをした稲が大きく育っておどろいた。稲を束ねる仕事は、ぎゅっとしばるのがむずかしかった。刈った稲にたくさんのお米がついていてすごいと思った。稲を刈るために田んぼに入ったが、冷たくてびっくりした。田んぼの中にはいろいろな生き物がいた。稲刈りはカマがこわかったが、自分で作ったお米だからうれしい気持ちもあった。稲を学校まで運ぶのはとても重かった。とても楽しかったのでまた、やってみたい。(A.M)

★最初は足を切ったりしたらどうしようと心配だったが、地元の農家のおじさんのわかりやすい説明で早くコツをつかめた。カマで稲を刈った時はすごく気持ちよかった。ワラで稲をたばねるのは少しむずかしかったけど、コツをつかむことができた。足を洗うときには水が冷たかった。またいつか体験したい。(S.S)

★農家のおじさんが「お米を食べる前に香りを楽しんでから食べて」と言ったので、どんなにおいがするのか楽しみだ。稲刈りの時にクモが足に上ってきたことや田んぼが深かったのもおどろいた。学校まで稲を運ぶのは少しはむずかしかった。次のだっこが楽しみだ。(M.Y)

★人生初めての稲刈りだ。農家のおじさんから刈り方を教えてもらった。右手でカマを持ち左手で稲を持ち、稲の下の方を刈った。稲を刈ったら「うまいね」と言われた。カマはノコギリみたいで、かんたんに刈れた。草取りの時より、田んぼの水が少なかった。クモやバッタなど生き物は、変わらずにたくさんいた。(T.K)

★カマで稲を刈るのは初めてだったが、おもしろかった。いなごやカマキリやヤゴもいた。カカシがあったおかげでこんなにお米がとれたと思った。学校までは稲が重くて長い時間のように感じたけど、一生懸命運んできてよかったなと思った。つかれていたけど、フェンスに干す作業が終わるとホッとした落ちているお米もとても大切に思えた。(S.M)



(S.U)



(C. I)

★稲を見たらたくさん分けっ
して、穂にもたくさんのお米が
なっていてびっくりした。田んぼ
にはメダカやザリガニ、カエルや
バッタがいた。稲を刈るのはたい
へんだったけど、たくさん刈れて
楽しかった。(H. O)

★草取りをしたときよりも稲が
大きくなっていておどろいた。草
取りの時にはいなかったバッタが
いた。稲を麻ひもで結ぶのもと
ても楽しかった。お米1つぶ1つ
ぶに農家さんの思いや努力がこも
っていることを知ってこれからも
お米を大切に食べたいと思った。
(H. O)

◎あすみっ子田んぼ (9月26日実施)

★あすみ田んぼで米になるかなと不安
だったけど、今回行ったらりっぱな米が
できていた。きれいな色をしていた。
それぞれの株に米がついていた。想像
したよりもたくさんついていた。草取
り、草刈りをした7月よりもと
ても成長していて、おどろいた。稲を
刈る時、鎌を持ってひいて、もう一
度ひいてやっと刈ることができ、う
れしかった。そのしゅんかん、がんば
った成果がたくさんつまっているのか
なと思った。12株はとても多く、両
手で持つのがやっとだった。一粒でも
田に落とすともう取れない。もう一
度行なうときがあれば、もっと気を
付けて行ないたい。(C. Y)

★田んぼに行ったら、春に田植えを
したときの稲だと思えないくらい成
長していました。田んぼの水は、私
のひざくらいあり、たまに足がぬけ
なくなりそうでした。私はこんなに
ふかい水から、すすく育っている稲
はすごいなあと思いました。稲にた
どりついたら、カマをわたされました。
カマを使うのは初めてだったので、
少しドキドキしました。でも、使っ
ているうちに、だんだん慣れてきた
ので、12株かれました。12株かっ
ただけでもすごいつかれてしまった
ので、昔の人は、秋になったらた



(R. N)

くさんの量を取る
ので、すごいなあ
と思いました。私
が毎日食べてい
る米には、農家
の人の努力や工
夫などの思いが
たくさんつまっ
てるんだなあ
とあらためて
感じました。(R. E)

★あすみ田んぼの
稲刈りをやって
みて、米作りを
している農家さん
たち

はとても大変だと思
いました。江戸時代
から米作りをして
いるという農家さん
の話を聞いて「昔の
人は頭が良いのだな。」
と思いました。なぜ
なら、わらをこしか
らずぐさまぬきとれ
るような結び方を工
夫したり、稲をほす
ときに二つにわかれ
やすいように結び方

を工夫したりしてい
ると聞いたからです。
田んぼは冷たくて寒
かったけれど、とて
も楽しかったです。1
ヶ月後にやる稲の
「だっこく」という
作業もとても楽し
みです。早くやりた
いです。ありがとうございました。
(R. N)

★いねはおどろく
ほど大きくて育って
いた。春、夏は緑色
だったが、少し茶色
ぼくなっていた。ボ
ランティアの方々が
おっしゃっていたお
り、いねを横にかた
むけて、水とすれす
れのところでいねを
切った。いねは、す
ごくがんじょうに育
っていたので、かま
を何度も何度も動
かしてやっと切れた
くらいだった。いね
は、ほを下に向けて
運ぶ。先が目に入ら
ないようにしている
んだって。いねを見
ると食べるのがす
ごく楽しみな気分。
いねかりするまで
すごく大変だった
けど、こんなに大き
くりっぱに育ってく
れたのですごくうれ
しい。(H. I)

★最初田んぼに入
る時、どろのあると
ころに入るのはい
こうがあったけど、
おもいきって入っ
たら昨日の雨水など
で冷たかったです。
でもいねを刈る順
番になって、刈っ
たらすんなり切れた
ので、落ちついて切
りました。一つ一つ
なるべく水面ギリ
ギリで切れたのでよ
かったです。いね刈
りを終えて、いねを
まとめて結ぶ時、あ
さのヒモで結びまし
た。一回、お母さん
方に教えてもらい、
きつくきれいに結
べたのでうれし
かったです。今では
もう、すぐに結べ
ます。帰る前、みん
なでしばたいねを
前の人たちは、1
〜2束だけ持ってい
るのに、私は4束も
持ちました。少し重
かったけど、楽し
かったです。(S. S)

★夏にはいなかった
生き物などがいっ
ぱいいました。カ
エルの色が茶色し
かいませんでした。
(A. K)

★7月の時と色が
変わっていたり、
見た事もないカメ
のような虫や小さ
いくもなどもいた。
(A. T)

★夏とはちがい同
じ生き物でも色が
ちがったりするこ
とがわかりました。
秋にはいない生き
物もいたので、い
い体験をしました。
(A. S)

★秋になって、夏
にいたトンボやお
たまじゃくしがと
ても少なく、夏に
見られなかった生
き物もありました。
(R. T)

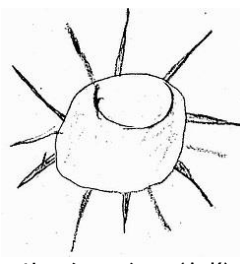
★他にもこわいや
つやかわいいやつ
もたくさんいまし
た。でも、田んぼ
にいる生き物を見
つけるのはとても
楽しかったです。
(S. M)



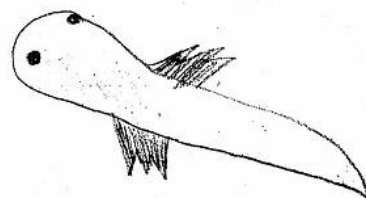
(R. E)



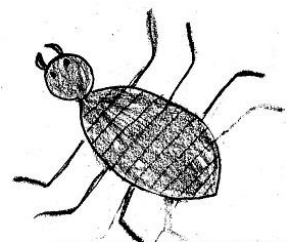
ひっくり返り (S. M)



サンシャイン (A. K)



? (R. T)



トンガリコーン (A. T)



里山たんけんレポート

第225回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2018年10月7日(日) 晴れ

林内はキノコの季節、ちょっと林内を巡りました。よく似たテングタケ、テングタケダマシの違いを見たり、1本食べれば死ぬという毒キノコの代表ドクツルタケは発生盛期であちこちにたくさん出ていました。大きなカラカサタケや可愛いチシオタケなどいろいろなキノコを観察しました。林から出てトンボの調査を兼ねて谷津を回りました。トンボは9種88頭を確認しました。内6種76頭は捕えて種、雌雄の別を記録、翅にマークをして放しました。昨年より総数では少なかったものの2016年、2015年とは大差ない状況でした。アキアカネの減少がちまたで話題になっていますが2頭捕えられただけで過去最少でした。

ミゾソバ、オギ、イヌタデ、ヒメジソ、キンエノコログサなどなど秋の花も満開でした。あけびやヤマノイモのむかごを味わったり、栗拾いをしたり、秋を満喫した観察会でした。

(大人7名、小学生2名 報告・写真 網代春男)



第227回 下大和田 YPP「古代米稲刈り」

2018年10月20日(土) 晴れ

緑色の稲刈りから始めました。ドロ深い田んぼですが子ども達も頑張って活躍してくれました。小さい子ども達は刈った稲を一生懸命運んでくれました。まずは刈るだけ刈って、その後みんなで束ねておだに掛けました。午後は小さい田の緑米、黒米を刈りました。今日もカヤネズミの巣があり、刈る前に気付いたものは刈らずに残しました。カヤネズミをしっかりと観察することが出来ました。愛らしく人気でした。

今年はスズメの被害が大きく赤米は全滅状態、黒米も大分食われてしまいました。生きものの為にやっている田んぼですが、対策が必要なほどでした。

(参加 大人24名、小学生16名、幼児5名、
報告 網代春男 写真 田中正彦)



森と水辺の手入れ ―― 鳥の巣箱作り ――

2018年10月21日(日) 晴れ



倒木を利用してシジュウカラやヤマガラなどの巣箱づくりをしました。チェーンソーで丸太から板を切り出したものを親子協力してノコギリで背板、前板、側面の板を切り、屋根板は皮付きの材を切り出しました。27mmの出入り口の穴はドリルであけ、組み立てました。午後から林内を巡って巣を掛ける木を選びシュロ縄でくくりつけました。

(参加 大人12名、小学生4名、幼児2名、
報告 網代春男 写真 田中正彦)

第163回・164回 小山町 YPP「古代米の稲刈り」「コシヒカリ・古代米の脱穀」

2018年10月14日(日) 雨、20日(土) 曇

14日は雨の中での作業でしたが、環境漫画家つやまあきひこさんが参加して下さり、気持ちも清々しく、作業はとても捗りました。20日は刈り残っていた古代米の稲刈りチームと、十分干された分の脱穀チームに分かれ作業。脱穀作業をしていると、少し離れた所から谷津の妖精さんのような女の子2人の視線がありました。2人は、大椎小の5年生で、脱穀と一緒にやりました。足踏み脱穀機の音が音楽のように軽やかにりんどう広場に響き渡りました。(10月14日 参加 大人4名：20日 参加 大人4名、小学生2名 報告 たんぽぽ)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 10月 3日 ミソソバの花が満開。(たんぼぼ)
10月 14日 稲にオオカマキリの卵、カヤネズミの巣を発見。(たんぼぼ)
10月 28日 ニホンアマガエルそこしこ旺盛に鳴く。モズ高鳴き、ショウビタキの声。(赤シャツ親父)

下大和田

- 10月 4日 背の高い大きなキノコ「カラカサタケ」が発生。(網代)
10月 12日 シロヨメナ咲き始める。(網代)
10月 25日 アオジの地鳴き今シーズン初めて聞く。(網代)



ミソソバの花 撮影 たんぼぼ

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうしで、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いづれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第229回下大和田 YPP「もみすり」

米づくり最後の工程、粃殻を取り玄米にします。米作り参加した方にはお米をお持ち帰りいただきます。場所が農政センターになります。

- 日時:** 2018年11月17日(土) 9時00分~16時 ☆雨天でも実施
場所: 千葉市若葉区野呂 千葉市農政センター
集合: 農政センター正門前に8時45分
交通: JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで芳賀バス停下車徒歩20分
持ち物: 弁当、飲み物、帽子、マスク、敷物など。
参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料
主催: ちば環境情報センター

▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

林内や水辺の整備をします。

- 日時:** 2018年11月18日(日) 9時45分~14時 ☆雨天中止
場所: 千葉市緑区下大和田谷津田
(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。)
集合: 現地9時45分 初めて参加する方は駐車場や会場をご案内しますので事前に、網代(あじろ)090-2301-0413までご連絡ください。
持ち物: 弁当、飲み物、帽子、軍手、長靴、長袖長ズボンの服装、敷物など
主催: ちば環境情報センター



オオカマキリの卵 撮影 たんぼぼ

▼第227回下大和田谷津田観察観察会とゴミ拾い

紅葉の谷津を巡ります。冬越しの鳥とも出会える頃です。

- 日時:** 2018年12月2日(日) 9時45分~12時 ☆雨天決行
場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)
集合: 現地9時45分 初めて参加の方はご連絡ください。(同上)
持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、あれば双眼鏡、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など
参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
主催: ちば・谷津田フォーラム、ちば環境情報センター

▼第165回・166回小山町 YPP「緑米の稲刈り」「緑米の脱穀」

緑米の稲刈りと緑米の脱穀をします。

- 日時:** 2018年11月10日(土)、23日(祝) 10時~12時30分 ☆小雨決行
場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)
持ち物: 飲み物、長靴(長めのもの)、帽子、軍手、敷物。
参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
主催: ちば環境情報センター

■編集後記 今号では、小学校の稲刈り体験の声をお伝えしました。小さな苗が子どもたちのちいさな手で田植えされてから、粃を湛えた穂を結び、稲刈りに至るまでの約6ヶ月が、煌めくようにフラッシュバックします。黄金色のコシヒカリを刈り終えると、次いで黒米、赤米、緑米など古代米が穂を垂れ、稲刈りが進み、谷津田は次第に水面を広げ落ち着いた色へ。。。最早セミは退場し、秋虫の声が静々と鳴き、時折、モズの高鳴きはキョッキョッと目立ちます。静けさをとりもどしつつある谷津田に、足踏み脱穀機の音は「カーコンガーコン」と、響きます。(赤シャツおやじ)